



「みらいトーク」に学ぶ

校長 尾崎 淳一

昨日、**石川市長様**が竜北中にお越しくださり、2年生6クラスを対象に「みらいトーク」を開催していただきました。この「みらいトーク」は、**石川市長様**が市民の生の声を聴き、今後の市政に生かすため、市内各地で開催されているイベントのことです。今回は、その特別バージョンとして、竜北2年生の声を聴いていただきました。**石川市長様**と直接対話ができるとは、何と素敵な機会でしょうか。見た目でも分かりますが、私は気が弱く、無口な人間ですから、校長室で**石川市長様**とお話しさせていただき、緊張の極致でうまく言葉が出ませんでした。しかし、隣に座った**2年主任**はいつもと変わらず堂々とした態度と笑顔で、冗談まで口にしていたので驚きました。羨ましい限りです……。

ところで、「みらいトーク」の冒頭で自己紹介してくださったとおり、**石川市長様**は「**竜北中の卒業生**」です。私はご本人には内緒で、当時の卒業アルバムを開きました。これは竜北中校長だけの特権、いや職権濫用ですね。私の予想通り、**石川市長様**は、現在と同じく笑顔の爽やかな「**竜北生**」でした。あるウェブサイトで「竜北中の著名人」と検索すると、一番にお名前が出てくる**偉大な先輩**でもあります。また、今年度の体育大会や研究発表会にもご臨席を賜るなど、「卒業生」「保護者」「市長」と様々な立場から、竜北生の皆さんおよび竜北中学校を応援してくださっています。とても嬉しく、心強いことです。**蛇足**ですが、何度調べても「**尾崎淳一**」が著名人とは検索されません。パソコンが不調です。

「みらいトーク」は、竜北2年生の皆さんにとって、貴重な学びの場となりましたね。**石川市長様**からは、「市長が決めたことをやるのではありません。先生が言うからやるのでもありません。より素敵な知立市、竜北中学校にすることはどうすべきか、中学生の皆さんが考え、どんどん意見を出してくださいね」と「**みらいへのメッセージ**」をいただきました。私も同感です。「みらいトーク」の学びを生かし、竜北生の前向きな提案を楽しみにしています。竜北中の主役は、竜北生の皆さん一人一人ですから。



私は**石川市長様**から、「ぜひ『**尾崎校長みらいトーク**』の実現を！」とご提案をいただき、「はい！」と元気よく返事をしたものの、「いや、ちょっと待てよ」と密かに悩んでいます。「校長の話は**1分以内**でお願い」「**イケメン校長**を望む」など私への辛いクレームや、「毎日**3時間授業**にして」「給食に**ステーキ**を」「運動場を**ドーム形式**に」など夢か幻のような意見が押し寄せるかも知れないからです。「**竜北中テニスコートをオムニ（砂入り人工芝）に改修**」など、**控えめで現実的な願い**ならば、私も大賛成ですよ。



石川市長様には、竜北生に**温かく**接していただき、また、一人一人の意見を**丁寧に**聴いていただき、心より感謝いたします。「**竜北中『みらいトーク』第2章**」が実現できれば嬉しいです。

現在、知立市は「**100年に一度のまちづくり**」に取り組んでおり、知立駅は竜北2年生の皆さんが「**20歳**」を迎える、令和13年についに完成するとのこと。これからは私たちの手で、素敵な**知立市**を創り上げていきましょう。「**竜北生、G o !!**」

猛暑が去ったと思えば、校庭には枯葉が舞う季節となり、週明けに早くも12月を迎えます。文字通りの「**師走**」とならないよう、落ち着いて竜北生の支援・指導に専念します。

（令和7年11月28日）